



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 健一 TEL 03 (5772) 4488
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,585	0.5	598	△2.5	555	△2.8	378	△1.0
2023年3月期第2四半期	16,498	9.6	614	4.7	571	△3.6	381	△7.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 541百万円 (17.6%) 2023年3月期第2四半期 460百万円 (3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	120.03	—
2023年3月期第2四半期	121.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	14,730	4,558	30.0	1,405.12
2023年3月期	11,445	4,164	35.4	1,286.55

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,425百万円 2023年3月期 4,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.4	1,000	6.1	1,000	14.3	670	15.4	212.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	3,150,000株	2023年3月期	3,150,000株
2024年3月期2Q	329株	2023年3月期	304株
2024年3月期2Q	3,149,682株	2023年3月期2Q	3,149,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴う人流の増加やインバウンド需要の回復等により、緩やかに回復しています。しかしながら、実質賃金の伸び悩み、エネルギー価格や原材料価格の高騰、米国との金利差拡大による円安相場の常態化等、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、行動制限の緩和に伴う人出の回復により消費に持ち直しが見られるものの、原材料価格や物流費の上昇に加えて、消費者の節約志向の高まりを受け、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである食品副原料、乳製品の販売数量が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,585,358千円（前期比0.5%増）となりました。売上高の増加に伴い売上総利益が前期比で増加したものの、人件費や販売活動に係る諸経費の増加により、営業利益は598,706千円（前期比2.5%減）、経常利益は555,736千円（前期比2.8%減）となりました。固定資産売却益等を特別利益として計上したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は378,058千円（前期比1.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

清涼飲料市場においては、行動制限の緩和に伴い人出の回復はあったものの、商品値上げによる買い控えの影響を受け出荷数量は前期比ほぼ横ばいで推移いたしました。原材料価格や物流費の上昇を受け、飲料メーカー各社は一部商品を値上げして利益確保に取り組んでいるものの、引き続き、円安や原材料価格の高騰などにより、今後の市場環境は不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーである糖類・香料などの食品副原料や、脱脂粉乳・バターなどの乳製品の販売数量が前期比で増加したことから、卸売事業の売上高は16,493,596千円（前期比0.2%増）となりました。

<製造販売事業>

安心・安全な商品の提供を第一に、美味しさと素材の良さにこだわったアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品の提供に努めてまいりました。主要顧客先からの受注回復に加えて、新規顧客先からのカップアイスの受注が増加したことから、製造販売事業の売上高は414,151千円（前期比3.1%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,092,264千円増加し、13,071,297千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ192,570千円増加し、1,658,780千円となりました。主な要因は、基幹システムの改修等の固定資産の取得によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,284,835千円増加し、14,730,078千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,918,344千円増加し、8,716,567千円となりました。主な要因は、買掛金、未払法人税等の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ27,121千円減少し、1,455,092千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,891,223千円増加し、10,171,660千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ393,611千円増加し、4,558,418千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,793,749	2,314,946
受取手形	80,330	177,818
売掛金	4,488,316	6,779,364
商品及び製品	2,163,607	2,359,165
未着商品	594,266	648,610
原材料及び貯蔵品	95,561	63,244
未収入金	197,209	228,818
その他	610,550	549,537
貸倒引当金	△44,558	△50,208
流動資産合計	9,979,033	13,071,297
固定資産		
有形固定資産	478,352	594,266
無形固定資産	3,318	50,383
投資その他の資産	984,539	1,014,130
固定資産合計	1,466,210	1,658,780
資産合計	11,445,243	14,730,078
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,521,216	7,185,175
1年内返済予定の長期借入金	776,530	786,826
未払金	159,156	316,662
未払法人税等	142,669	184,184
賞与引当金	37,754	57,747
その他	160,896	185,971
流動負債合計	5,798,222	8,716,567
固定負債		
長期借入金	1,361,212	1,317,774
資産除去債務	10,756	9,838
その他	110,245	127,479
固定負債合計	1,482,213	1,455,092
負債合計	7,280,436	10,171,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	3,145,022	3,375,045
自己株式	△259	△292
株主資本合計	3,800,625	4,030,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,066	243,320
繰延ヘッジ損益	△6,619	23,970
為替換算調整勘定	77,180	127,743
その他の包括利益累計額合計	251,626	395,035
非支配株主持分	112,554	132,767
純資産合計	4,164,806	4,558,418
負債純資産合計	11,445,243	14,730,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	16,498,816	16,585,358
売上原価	14,765,004	14,793,201
売上総利益	1,733,812	1,792,157
販売費及び一般管理費	1,119,529	1,193,450
営業利益	614,283	598,706
営業外収益		
受取利息	356	282
受取配当金	4,648	5,062
受取手数料	2,636	3,163
受取補償金	601	3,655
補助金収入	1,384	—
その他	740	965
営業外収益合計	10,368	13,129
営業外費用		
支払利息	4,521	5,606
為替差損	48,417	49,585
その他	117	908
営業外費用合計	53,055	56,099
経常利益	571,596	555,736
特別利益		
固定資産売却益	—	9,977
投資有価証券売却益	—	6,280
特別利益合計	—	16,257
税金等調整前四半期純利益	571,596	571,993
法人税、住民税及び事業税	167,601	178,670
法人税等調整額	9,867	9,815
法人税等合計	177,469	188,486
四半期純利益	394,126	383,507
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,338	5,448
親会社株主に帰属する四半期純利益	381,788	378,058

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	394,126	383,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,332	62,254
繰延ヘッジ損益	4,003	30,590
為替換算調整勘定	76,460	65,327
その他の包括利益合計	66,131	158,172
四半期包括利益	460,258	541,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	430,640	521,467
非支配株主に係る四半期包括利益	29,618	20,212

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	571,596	571,993
減価償却費	24,174	29,260
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,172	5,649
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,796	19,993
受取利息及び受取配当金	△5,004	△5,344
支払利息	4,521	5,606
為替差損益(△は益)	△21,124	△12,273
固定資産売却益	—	△9,977
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6,280
売上債権の増減額(△は増加)	△1,168,069	△2,347,979
棚卸資産の増減額(△は増加)	106,736	△206,123
未収入金の増減額(△は増加)	△115,444	△31,598
前渡金の増減額(△は増加)	△114,890	72,954
仕入債務の増減額(△は減少)	919,829	2,628,817
未払金の増減額(△は減少)	6,412	89,021
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,759	54,469
前受金の増減額(△は減少)	△7,753	522
有償支給取引に係る負債の増減額(△は減少)	51,708	△34,092
その他	5,500	41,505
小計	259,328	866,125
利息及び配当金の受取額	5,725	5,706
利息の支払額	△4,659	△5,781
法人税等の支払額	△161,069	△137,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,324	728,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,321	△127,604
有形固定資産の売却による収入	—	9,145
無形固定資産の取得による支出	—	△600
貸付金の回収による収入	30,000	30,000
投資有価証券の売却による収入	—	13,650
差入保証金の差入による支出	△21,697	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,018	△75,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△410,578	△433,142
リース債務の返済による支出	△7,233	△7,749
自己株式の取得による支出	—	△32
配当金の支払額	△148,084	△147,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,896	△188,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	57,043	56,694
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,546	521,197
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,813	1,793,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,753,267	2,314,946

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,259,797	239,018	16,498,816	—	16,498,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203,365	162,773	366,138	△366,138	—
計	16,463,162	401,792	16,864,954	△366,138	16,498,816
セグメント利益	618,148	917	619,065	△4,782	614,283

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,782千円は、セグメント間取引消去△4,782千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,373,763	211,594	16,585,358	—	16,585,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119,833	202,556	322,389	△322,389	—
計	16,493,596	414,151	16,907,747	△322,389	16,585,358
セグメント利益又は 損失(△)	592,420	△712	591,707	6,999	598,706

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,999千円は、セグメント間取引消去6,999千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2023年11月13日開催の取締役会において、下記のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

資本効率の改善および株式数削減を通じた1株当たり株式価値の向上を図るため、自己株式の取得をするものがあります。

(2) 取得に係る事項の内容

①取得する株式の種類 当社普通株式

②取得する株式の総数 20万株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合6.35%)

③株式の取得価額の総額 2023年11月13日の終値に20万株を乗じた取得価額を上限

④取得期間 2023年11月13日から2023年11月14日まで

⑤取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け